

第14回 2021年 7月～9月 美濃加茂市内企業 業況調査の結果について

調査項目 (自社業況・売上高・採算・仕入単価・従業員・資金繰り)

2021年9月に会員60事業所について業況調査を実施し、60事業所から回答を得ました。
(回答率100%)

ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。今後も年4回実施していきますので、ご協力頂きますようよろしくお願いいたします。

【表1】2021年7月～9月期の動向

※DI(景気判断指数)とは、業況・売上高・採算・仕入単価・従業員・資金繰りの項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準としてプラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。つまり、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

【業況DI】

業況	今期 2021年7月～9月	先行き 2021年10月～12月
サービス	▲ 30.0	▲ 20.0
運輸・自動車	20.0	0.0
観光・飲食	▲ 60.0	▲ 20.0
建設	▲ 50.0	▲ 10.0
工業	0.0	10.0
商業	▲ 50.0	▲ 10.0
全体	▲ 28.3	▲ 8.3

【仕入単価DI】

仕入単価	今期 2021年7月～9月	先行き 2021年10月～12月
サービス	▲ 30.0	▲ 10.0
運輸・自動車	▲ 60.0	▲ 40.0
観光・飲食	▲ 40.0	▲ 20.0
建設	▲ 90.0	▲ 80.0
工業	▲ 40.0	▲ 20.0
商業	▲ 30.0	▲ 30.0
全体	▲ 48.3	▲ 33.3

【売上DI】

売上	今期 2021年7月～9月	先行き 2021年10月～12月
サービス	▲ 30.0	▲ 30.0
運輸・自動車	10.0	0.0
観光・飲食	▲ 50.0	▲ 30.0
建設	▲ 60.0	▲ 10.0
工業	20.0	20.0
商業	▲ 70.0	▲ 30.0
全体	▲ 30.0	▲ 13.3

【従業員DI】

従業員	今期 2021年7月～9月	先行き 2021年10月～12月
サービス	0.0	0.0
運輸・自動車	10.0	0.0
観光・飲食	0.0	10.0
建設	70.0	60.0
工業	10.0	10.0
商業	10.0	10.0
全体	16.7	15.0

【採算DI】

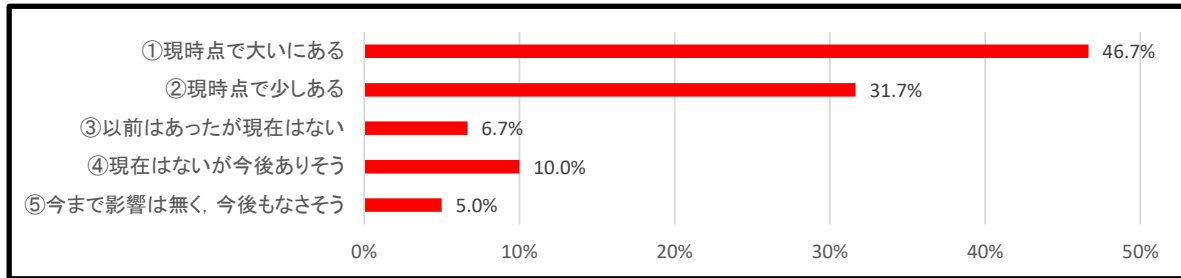
採算	今期 2021年7月～9月	先行き 2021年10月～12月
サービス	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸・自動車	▲ 20.0	▲ 10.0
観光・飲食	▲ 50.0	▲ 20.0
建設	▲ 90.0	▲ 50.0
工業	0.0	0.0
商業	▲ 30.0	▲ 20.0
全体	▲ 35.0	▲ 20.0

【資金繰りDI】

資金繰り	今期 2021年7月～9月	先行き 2021年10月～12月
サービス	▲ 20.0	▲ 10.0
運輸・自動車	▲ 10.0	0.0
観光・飲食	▲ 50.0	▲ 30.0
建設	0.0	▲ 10.0
工業	▲ 10.0	0.0
商業	▲ 20.0	▲ 20.0
全体	▲ 18.3	▲ 11.7

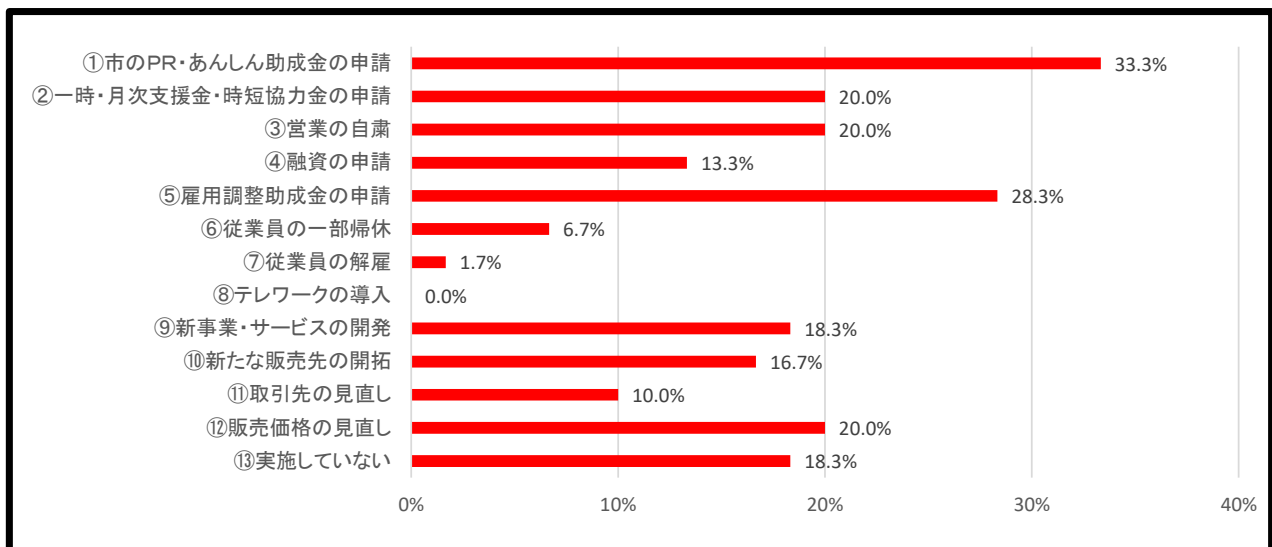
【表2】コロナウイルスによるマイナス影響について

新型コロナウイルスによるマイナス影響についての問いに、「①現時点で大いに影響がある」が46.7%「②現時点で少しある」が31.7%と続いており、飲食業の割合が最も多い。「④現在はないが今後ありそう」と答えた10.0%のうち一番多い業種は建設業であり、「ウッドショックの影響がある」「半導体不足による遅延と価格上昇による影響がある」といった意見もありました。



【表3】コロナウイルスの影響により行った対策について(複数回答可)

コロナウイルスの影響により行った対策(今後の予定も含む)について伺ったところ、「①市のPR・あんしん助成金の申請」が(33%)が最も高く、次に、「⑤雇用調整助成金の申請」(28.3%)、「②一時・月次支援金の申請」と「③営業の自粛」「⑫販売価格の見直し」が(20%)と続く結果となりました。



【調査結果】

今回の調査は、「新型コロナウイルス感染症第5波」の影響を受け、8月20日から「まん延防止等重点措置」及び8月27日から9月30日までの「緊急事態宣言」が発令された期間の調査であり、特に「観光・飲食業」「建設業」「商業」がさらに厳しい結果となりました。

【表1】の業況・売上をみると、運輸・自動車、工業を除く業種で落ち込みがみられた。企業からは「新たな取引先の開拓が課題となってきている」「コロナ禍のなか厳しい状況である」との意見もあった。

仕入価格は、全ての業種で価格が上昇傾向であると回答していることから、ウッドショックの影響や輸入小麦・油・コーヒー等の高騰やガソリン価格の高騰により利益を圧迫していると考えられる。

従業員については、特に建設業で従業員不足と回答している企業が多くみられた。

採算や資金繰りについては、前回の調査結果と比べると悪化していると回答している企業が多い結果となった。

今回は、コロナウイルスによるマイナス影響について調査を行なった。【表2】によると「現時点で大いに影響がある」が46.7%で、次に「現時点で少しある」が31.7%と続く結果となった。特に、観光・飲食業から影響が大いにあると回答した企業が多かった。

【表3】コロナウイルスの影響により行った対策について伺ったところ、「美濃加茂市のPR助成金とあんしん助成金の申請」(33.3%)と最も多く、次に、「雇用調整助成金の申請」(28.3%)、「一時・月次支援金の申請」と「営業の自粛」「販売価格の見直し」が(20%)と続いた。

今後の経営の見通しや美濃加茂市への要望について伺ったところ、「パジェロ製造閉鎖により関連会社を含めて今後の業績に大きく影響してくる」「営業自粛によりマイナス影響が多大である」「部品の入荷が困難となっている」「再度、みのかも応援チケット事業を行ってほしい」との意見がありました。